

ビームライン実験ステーション高度化、 整備計画提案のお願い

JASRI利用促進部門長
植木 龍夫

平成10年度から共用ビームラインの本格的な供用が開始されています。ビームライン建設第Ⅰ期の実験ステーション機器は、必要最小限のものであったビームラインもあります。今後、測定機器の高度化（高精度化、高速化、汎用化や新しい測定法など）により継続的に実験ステーションの完成度を高めていくことになっていきます。つきましては、ご利用中のビームライン、実験ステーションについて、その高度化もしくは整備について提案をお願いいたします。提案は下記の要領をお願いいたします。なお、高度化/整備は、提案をJASRI内の「実験ステーション機器整備委員会」による書類審査とヒアリングを通して実施に移すこととなります。

記

1. 提案書の形式は自由ですが下記の項目をふくむこと。
 - ・ 提案者氏名、所属
 - ・ 高度化計画もしくは整備する機器、装置の名称
 - ・ 高度化や整備によって推進される利用研究の目的などの概要
 - ・ 仕様（できるだけ詳細に）概略図、カタログなど
 - ・ 予想される概算費用（提案はA4数枚程度、提案する機器などはエクセルの表で提出してください。）
2. 締め切り：10月9日(金) 必着
3. ビームライン担当者と相談の上、ビームライン担当者が提出
4. 提出先：JASRI利用促進部門・植木

なお、ビームラインで複数のステーションが設置されている場合には複数の提案を行っても結構です。この提案は、通常のビームライン、実験ステーション運営費で整備できる範囲を越えたもので、一件あたり2～3千万円といったものを想定しております。細かいものの積算はさけてください。

また、高度化/整備の実行は、予算が年度をまたぐ場合があるなど、年度内に終了できないことがあることを付記いたします。